

J F M A 情報

Japan Futon Manufacturers Association

日本ふとん製造協同組合
一般財団法人日本ふとん協会

JFMA アドレス <http://www.futon.or.jp/>

平成 28 年 9 月 15 日 No.131

JFMA 第58回通常総会を開催

—新理事長に浅黄敬之氏を満場一致で選出—

日本ふとん製造協同組合は5月19日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で第58回通常総会を開催し、平成27年度事業報告、決算報告を原案通り承認すると共に、平成28年度事業計画、収支予算の審議を行い原案通り承認可決されました。また、理事、監事任期満了に伴う改選については、米山元章理事長、大出広専務理事、工藤博理事が任期満了で退任され、浅黄敬之副理事長が新理事長に選出されました。また、新たに監事として大賀茂功氏（㈱ダルマックス代表取締役社長）が選出されました。

総会はず、米山理事長が「4月に発生した熊本地震の被災者にお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興を願う」と述べた後、「5月7日の朝日新聞一面に羽毛原料産地偽装かという報道がなされ、

その後テレビでも放送されるなど由々しき問題となった。いま自動車業界でも偽装問題が取り上げられており、我々業界として気を抜かず取り組ん

でいかなければならない。日本経済は昨年、為替が円安で輸出業者は恩恵を得たようだが、今年は円高に振れている。そうした中で、我々は外国人技能実習生の受入れを進めてきているが、主体であった中国が国内の経済の向上に伴う賃金の上昇などにより、受入れる人数が厳しくなっている。そこで、いま中国以外のフィリピンやカンボジアなどからの受入れを推進しているところである。



第58回日本ふとん製造協同組合通常総会（5月19日）

目 次

JFMA 第58回通常総会を開催	1~2
第14回JFMA研修会	3~4
第14次 技能実習生15名入国	5
「まるごとジャパン」ラベル	6
統計資料	
繊維統計	7
貿易統計	8

また組合では、今年も7月にJFMA研修会を実施するほか、キャメルなどの産地であるモンゴルでの視察・研修も計画している。我々製造を主とする組合は、日本の良さを見直し、安全・安心のモノづくりを進めることによって組合の存在価値を高めていきたい」と挨拶した。

このあと、米山理事長を議長に選出し所定の議案を審議しすべて原案通り承認可決されました。

総会は、奥中副理事長の閉会の辞で滞りなく終了し、会場を移し懇親パーティーが開かれました。

【役員の改選について】

任期満了に伴う改選が行われ、次の方々がそれぞれ理事、監事に選出されました。(敬称略)

(理事長) 浅黄敬之 (アサギ株)

(副理事長) 奥中敏之 (つるまる株)

(理事) 白崎邦彦 (白崎繊維工業株)

伊勢沢一男 (エビー株)

中野 均 (株ふとんの中野)

富澤 順 (丸三綿業株)

米山元章 (株エビス)

石田裕紀子 (木村綿業株)

○松田祥一郎 (大恵ウール株)

斎藤 勤 (四国繊維販売株会長)

(監事) 根本昌弘 (株根本)

○大賀茂功 (株ダルマックス)

【注】○印は新任

【平成28年度事業について】

1. 指導教育事業について

組合員の事業に関する経営、技術の改善向上を図るため指導教育事業を行う。

(1) 機関紙「JFMA情報」の発行(年3回)

(2) 視察・研修会の開催(平成28年7月7日(木)・8日(金))

[一般財団法人日本ふとん協会と共同で開催]

(3) その他必要に応じ懇談会、講演会の開催

2. 需要振興事業

(1) 日本製ラベルの発行

(2) 10月10日の「ふとんの日」に関する事業

3. JFMA共同ブランド「まるごとジャパン」事業

(1) 「まるごとジャパン」の普及活動

(2) 「まるごとジャパン」パンフレット作製

(3) 「まるごとジャパン」スタンダード・バージョンラベルの発行

4. 調査研究事業

モンゴル国のふとん用羊毛原料の調査事業

[一般財団法人日本ふとん協会と共同でふとん用羊毛原料の調査及び視察を行う。]

5. 委員会、部会の活動

(1) 経営情報委員会事業

①「JFMA情報」の編集

②その他諸情報及び資料等の提供

(2) 品質管理部会事業

①品質管理及び品質基準に係わる調査・研究

②その他必要な事業

(3) ふとん部会事業

①ふとんに関する啓発活動

②羊毛ふとんの生産実績調査

(4) 国際交流部会事業

①第14次外国人技能実習生受入れ事業

②海外との交流事業

5. 福利厚生について

(1) 火災により損害を受けた組合員に対し、お見舞金を呈上する。

(2) 組合員に対して内規による弔慰金を呈上する。

6. 経済事業について

(1) 品質表示用取り扱いタグ及びわた見本袋等の斡旋を行う。

(2) その他必要に応じ斡旋等を行う。

7. 団体折衝並びに団体協約について

組合員の経済的地位向上のため必要がある場合は、関係諸組合と団体折衝並びに団体協約の締結等を行う。

8. その他の附帯事業について

その他必要に応じ実施する。

第14回 JFMA研修会

JFMA 理事長 浅黄 敬之

今年も恒例の一般財団法人日本ふとん協会と日本ふとん製造協同組合が共催で行う第14回JFMA研修会が7月7日、8日の2日間、名古屋市で開催されました。今回参加された組合企業は16社で25名の方が集まりました。研修会初日は昨年に引き続き、まくら㈱代表取締役社長の河元智行氏による講義と、2日目はトヨタ産業技術記念館の見学が研修会の主な内容です。

初日は3年続けての講師をお願いしております、まくら㈱代表取締役社長の河元社長による講義でした。タイトルは「100年後でも生き残れる寝具企業の条件2」との題目で、昨年の内容を継承した講義でした。今回の内容は100年後も存続できる寝具企業に必要な4つの条件を中心に講義頂きました。

4つの条件とは、1つ目が「先読み力」、2つ目が「企画開発力」、3つ目が「ブランド力」、4つ目が「スタッフ力」です。

『先読み力』とは、ネット通販業界の10年後&100年後の未来、寝具業界の10年後&100年後の未来を想定し、時代や時流に歩調を合わせるのではなく先回りして先手を打つこと。

『企画開発力』とは、毎月1回以上、自社の商品やサービスをプレリリースすることで自社の魅力を世間に発信し、企画開発力を育て強化していくこと。



河元社長の講義

『ブランド力』とは、寝具業界における自社企業のブランド力を強化すること。具体的には自社ホームページ内容の見直しと企業イメージの強化。

『スタッフ力』とは、目標に向かって社員が協働する力の開発と社員間コミュニケーション能力を向上していくこと。チームビルディングの実践。



参加者全員によるタワー製作ゲーム

以上、4つの条件を具体的に簡単なゲームを交えながら、約3時間に及び講義をして頂きました。特にブランド力の講義では、河元社長が事前に研修に参加した企業のホームページを8項目に分けて採点し、どこを直せば自社ブランド力を向上できるか具体的にご指導頂きました。今回も非常に内容の濃い講話で、参加された方々は真剣にメモを取りながら受講しておりました。

初日の講義終了後、河元社長にもご参加いただき、名古屋市内の居酒屋で盛大に懇親会を開きました。今回参加された方の半数は昨年も研修会に参加された方であり、約一年ぶりの再会に懇親会は大いに盛り上がりました。同じ業界でありながら、普段顔を合わせる機会の少ない者同士、お酒を酌み交わしながら胸襟を開いて情報交換をいたしました。

研修2日目はトヨタ産業技術記念館の見学です。この記念館はトヨタグループの発祥の地である旧豊



田紡績株式会社本社工場跡に設立されました。建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用し、近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである織物機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を紹介しております。この記念館を見学することで「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さを本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて学ぶことができました。約2時間の見学でしたが、日本が世界に誇るトヨタグループの精神を知ることができました。

今回の研修会も会社を担う若手の方を中心とした研修会ということもあり、同じような境遇で悩み不安を抱えている若手社員や経営者にとって、これからの経営指針となる貴重な研修会だったと思います。来年もJFMA研修会を開催する予定ですので、多くの組合員のご参加を期待しております。

第14回JFMA研修会日程表

7月7日(木)		
12:30	集合	
13:00~	開会あいさつ	
13:15 ~	〔講義〕	まくら株式会社
17:30	「100年後でも生き残れる寝具企業の条件2」	代表取締役社長 河元智行氏
18:30~	懇親会	
7月8日(金)		
10:00~	トヨタ産業技術記念館	
12:00		
12:30	閉会	

第14回JFMA研修会参加者名簿

〔講師〕

氏名	会社名	役職名
河元 智行	まくら株式会社	代表取締役社長

〔参加者〕

白崎 善大	白崎繊維工業(株)	取締役
浅黄 敬之	アサギ(株)	代表取締役社長
浅黄 利洋	同	取締役東京支店長
佐藤 順一	(株)鐵扇屋	代表取締役社長
井坂 知正	(株)会吉商店	代表取締役社長
柿田 博志	丸三綿業(株)	営業部長
熊川 祐二	同	営業課長
中條 輝夫	(株)コボックス	代表取締役社長
中條 裕介	同	常務取締役
山本 和夫	東京化セン(株)	代表取締役社長
鈴木伸一郎	同	工場長
坂井 賢治	(株)エビス	営業部
海藤 知弘	同	営業部
木村 岳	木村綿業(株)	
山本 博充	山甚物産(株)	代表取締役社長
金剛 次郎	同	取締役
西崎 匠	(株)ニシザキ	専務取締役
池田 康郎	和田哲(株)	取締役営業部長
金森 秀子	金森(株)	取締役会長
小塩 由希子	同	取締役
本多 英治	本多綿業(株)	取締役専務
大賀 茂功	(株)ダルマックス	代表取締役社長
桑山 久美子	ルヴェラ(株)	代表取締役社長
古城 裕太	同	工場管理長
宮田 裕一郎	同	工場管理長補佐
大出 広	日本ふとん協会	専務理事

第14次 技能実習生15名入国

—カンボジア技能実習生が初めて来日—

当組合の外国人技能実習生受入れ事業は、今年で14年目を迎え、第14次技能実習生として6月6日にフィリピン人3名、7月19日に中国人4名、7月21日に中国人2名、カンボジア人6名の合計で15名の技能実習生が来日致しました。また、今年度は12月と1月に中国人3名、フィリピン人6名の技能実習生の入国が予定されております。

この14年間で当組合が受入れた技能実習生の延べ人数は560名となりました。

現在、技能実習生を受入れている組合員数は15社、実習生数は72名となっております。

また、当組合では平成15年の研修生受入れ当初から北京市・中国对外友好合作服務中心を主体として12年間、中国人実習生を受入れてきました。しかし、近年の円安等により環境が大きく変化し、中国国内での人材の確保が難しくなったことを受けて、昨年ではフィリピン技能実習生12名受入れました。今年では更に、カンボジアから6名（男性4名、女性2名）の実習生を受入れました。

平成29年度の技能実習生受入れ募集は9月から開始し来年、1月の面接を予定しております。面接は、平成29年1月7日～12日を中国・江蘇省、1月20



2016年8月20日開講式終了後の集合写真

日～22日をカンボジア・プノンペンでの面接を予定。また、フィリピンの面接は1月27日～29日を予定しております。

外国人技能実習生の受入れをご希望される方、又はお問い合わせは事務局まで。

【外国人技能実習生受入れ条件】

- ① JFMAの組合員であること。
- ② 研修生受入れ人数

常勤従業員数	研修生の人数
50人以下	3人
51人以上100人以下	6人

(1年目に3人、2年目に3人、3年目3人という形で受入れた場合、3年目には9人まで可能です。)

【外国人技能実習生受入れに関する問合せ先】

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-3-11

日本ふとん製造協同組合 (JFMA)

国際交流部会

(TEL)03-3281-2714 (FAX)03-3281-1720

(E-mail) oide@mint.ocn.ne.jp



2016年7月22日の開講式

JFMA共同ブランド「まるごとジャパン」ラベル

ースタンダード・バージョンのご案内ー

当組合では約5年前より「まるごとジャパン」ラベルを発行しておりますが、従来のラベル（デラックス・バージョン）は製品に使用する羽毛や羊毛等は国内洗浄工程を経た原料を使用することが条件でした。今回、新たに発行するスタンダード・バージョンの新ラベルは、その国内洗浄の条件を外した新たな品質基準で運用することを決定し、スタートさせることに致しました。

昨年3月に組合員各位に「まるごとジャパン」ラベルに関するアンケート調査を実施致しましたが、この調査結果を踏まえ、従来ラベルをデラックス・バージョン、新たなラベルをスタンダード・バージョンと2種類のラベルの発行を行うことに致しました。2つともラベルのデザインは同じですが、スタンダード・バージョンはラベルの大きさが従来ラベルよりも一回り小さくなり、ラベルのカラーはホワイト色になります。またデラックス・バージョンはラベルの他に織ネームがセットになっており1セットの単価が150円でしたが、スタンダード・バージョンではラベルのみとなり織ネームはつきません。単価は1枚70円となります。新ラベルの発行は平成28年9月からスタートします。

今回の「まるごとジャパン」ラベルにスタンダード・バージョンが加わった背景には、従来のラベル製品の国内洗浄工程を経た原料を使用するとコスト高になり、ラベルを製品に添付する頻度が少なかったことがあります。そこで新ラベルを発行することで、より多くの製品に「まるごとジャパン」ラベルを添付できるようになります。

このラベルの目的は、海外製造ふとんに対して、日本製ふとんの安心・安全といった優位性を消費者に分かりやすくアピールすることです。是非、組合員企業の皆様におかれましては従来ラベルに加え、この新ラベルであるスタンダード・バージョンを大いにご活用くださいますようお願い申し上げます。

(スタンダード・バージョンの表面)



(スタンダード・バージョンの裏面)

【まるごとジャパンの5つのこだわり】

- ① このふとんは、日本ふとん製造協同組合が認定した国内工場で製造したものです。
- ② 生地は、日本で縫製・検品したものです。
- ③ 詰めものは、国内メーカーの合成繊維と、海外で生まれた羽毛や羊毛も組合基準をクリアした原料を日本の技術で加工・管理した厳選素材です。
- ④ このふとんの5年後の打ち直しや丸洗い・廃棄など、何でもご相談いただけます。
- ⑤ 「まるごとジャパン」ラベルの運用費の一部は、育英資金等に寄付します。

日本ふとん製造協同組合 (JS0001)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目3番11号

- スタンダード・バージョンラベル価格
1枚の単価：70円
- 「まるごとジャパン」リーフレット
(新たに作製一追加希望は組合にご連絡ください。)

統 計 資 料

繊維統計

2016年1～6月のふとん生産量

161万枚、0.6%減少

2016年1～6月の製綿生産量

2,742トン、2.2%増加

ふとん生産量の推移 (単位：千枚、%)

年 別	掛 け	敷 き	こたつ	羽 毛	合 計
06年	1,936 99.7	2,845 102.9	512 69.6	1,963 92.7	7,256 96.0
07年	1,529 79.0	2,341 82.3	279 54.5	1,735 88.4	5,884 81.1
08年	960 62.8	1,811 77.4	281 100.7	1,722 99.3	4,775 81.2
09年	973 101.4	1,762 97.3	259 92.2	1,758 102.1	4,753 99.5
10年	978 100.5	1,710 97.0	237 91.5	1,659 94.4	4,583 96.4
11年	893 91.6	1,744 102.3	201 79.4	1,561 93.9	4,399 96.1
12年	813 91.0	1,661 95.2	161 80.1	1,382 88.5	4,017 91.3
13年	759 93.4	1,482 89.2	138 85.7	1,328 96.1	3,706 92.3
14年	791 104.2	1,598 107.8	160 115.9	1,296 97.6	3,844 103.7
15年	754 95.3	1,551 97.1	112 60.0	1,214 93.7	3,631 94.5
16年 1～6月	357 98.9	737 99.1	12 63.2	505 101.8	1,611 99.4
16年 1～3月	187 97.4	395 102.1	4 103.0	298 101.7	884 101.0
16年 4～6月	170 100.0	342 95.8	8 53.3	207 102.0	727 97.6

上段は数量、下段は前年比 (経済産業省・繊維統計)

製綿生産量の推移 (単位：トン、%)

年別	合成繊維	その他(羊毛含)	合 計
06年	9,302(105.4)	4,199(100.6)	13,502(103.9)
07年	9,224(99.2)	4,175(99.4)	12,781(94.7)
08年	9,830(106.6)	2,602(73.2)	12,432(97.3)
09年	8,568(87.2)	2,288(87.3)	10,856(87.3)
10年	9,092(106.1)	2,179(95.2)	11,271(103.8)
11年	9,050(99.7)	2,096(96.3)	11,145(99.1)
12年	7,998(88.4)	1,908(91.0)	9,906(88.9)
13年	5,036(63.0)	1,733(90.8)	6,769(68.3)
14年	4,414(87.6)	1,613(93.1)	6,027(89.0)
15年	4,312(97.7)	1,512(93.7)	5,823(96.6)
16年 1-6月	2,047(103.0)	696(100.0)	2,742(102.2)

(経済産業省・繊維統計)

2016年1～7月の支出金額 14.9%減少

ふとんへの一世帯当たりの支出額

(単位：円、枚、%)

年別	支出金額	購入数量	平均単価
08年	3,682(105.1)	0.262(97.8)	14,076(107.9)
09年	2,807(76.2)	0.270(103.1)	10,397(73.9)
10年	2,913(103.8)	0.278(103.0)	10,484(100.8)
11年	2,912(100.0)	0.262(94.2)	10,851(105.9)
12年	3,383(116.2)	0.265(101.1)	12,762(117.6)
13年	2,747(81.2)	0.259(97.7)	10,606(83.1)
14年	3,369(122.6)	0.257(99.2)	13,105(123.4)
15年	3,020(89.6)	0.263(102.3)	11,480(87.6)
16年 1-7月	1,320(85.1)	0.129(89.0)	10,589(81.2)

(総務省、家計調査)

貿易統計

2016年1~7月「合繊ふとん」の輸入枚数 641万枚、3.9%増加
合繊ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	デンマーク	ベトナム	その他	合計
2013年	数量	12,500(119.4)	0.5(13.4)	426(283.8)	27(117.4)	12,953(121.7)
	金額	17,326(135.9)	2(7.5)	705(330.6)	256(134.7)	18,288(138.9)
2014年	数量	13,873(111.0)	—	608(142.7)	16(59.3)	14,497(111.9)
	金額	24,781(143.0)	—	1,984(281.4)	171(66.8)	26,936(147.3)
2015年	数量	13,352(96.2)	—	828(136.2)	10(62.5)	14,190(97.9)
	金額	26,097(105.3)	—	2,751(138.7)	147(86.0)	28,995(107.6)
2016年 1-7月	数量	6,078(103.8)	1(—)	323(104.7)	7(149.9)	6,410(103.9)
	金額	9,737(89.4)	7(—)	915378(94.1)	62(73.0)	107,259(89.8)

2016年1~7月「その他ふとん」輸入枚数 79万枚、18.3%増加

その他のふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ドイツ	ベトナム	その他	合計
2013年	数量	1,582(115.6)	3(98.3)	13(5469.3)	10(26.8)	1,607(114.2)
	金額	4,496(144.6)	30(105.2)	23(342.7)	53(24.4)	4,602(136.9)
2014年	数量	1,584(100.1)	3(100.0)	8(61.5)	22(220.0)	1,618(119.9)
	金額	4,497(100.0)	33(110.0)	15(65.2)	130(245.3)	4,675(152.8)
2015年	数量	1,291(81.5)	3(81.5)	34(421.3)	23(104.3)	1,336(82.6)
	金額	4,177(92.9)	29(89.7)	68(441.1)	92(70.8)	4,298(91.9)
2016年 1-7月	数量	692(108.3)	2(108.8)	91(520.9)	1(16.7)	786(118.3)
	金額	2,128(100.5)	14(83.8)	163(560.9)	13(86.7)	2,318(106.4)

2016年1~7月「羽毛ふとん」輸入枚数 132万枚、30.6%増加

羽毛ふとんの輸入推移

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ドイツ	ベトナム	その他	合計
2013年	数量	3,218(94.2)	13(82.2)	454(66.5)	10(320.0)	3,695(89.7)
	金額	8,967(99.7)	410(86.1)	1,535(86.1)	74(125.1)	10,987(97.1)
2014年	数量	1,584(49.2)	10(76.9)	263(57.9)	3(30.0)	1,860(50.3)
	金額	7,184(80.1)	500(122.0)	1,577(102.7)	125(168.9)	9,386(85.4)
2015年	数量	1,649(104.1)	10(95.5)	229(87.1)	7(233.3)	1,895(101.9)
	金額	7,265(101.1)	408(81.6)	1,365(86.6)	130(104.0)	9,168(97.7)
2016年 1-7月	数量	1,261(137.3)	4(80.9)	42(49.5)	12(699.6)	1,320(130.6)
	金額	3,442(108.7)	175(78.1)	123(32.3)	69(130.4)	3,809(99.6)

[JFMA情報は再生紙を使用しています。]